

男女共同参画意識調査の結果を報告

☎男女共同参画室 ☎7167-1127

市では、男女が性別にかかわらず、能力や個性を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し施策を推進しています。

昨年9月から10月にかけて、市民の皆さんの男女共同参画に関する意識や実態を把握するため調査を行いました。その結果の一部をお知らせします。

今回行った意識調査については、平成28年度からの新しい計画に反映していきます。

今回の調査方法

調査対象／無作為に抽出した市内在住の20歳以上の男女4,000人
実施方法／郵送
調査期間／平成26年9月17日～10月10日
回収結果／有効回収数1,317通(32.9パーセント)

「男は外、女は家庭」賛成派が反対派を上回る

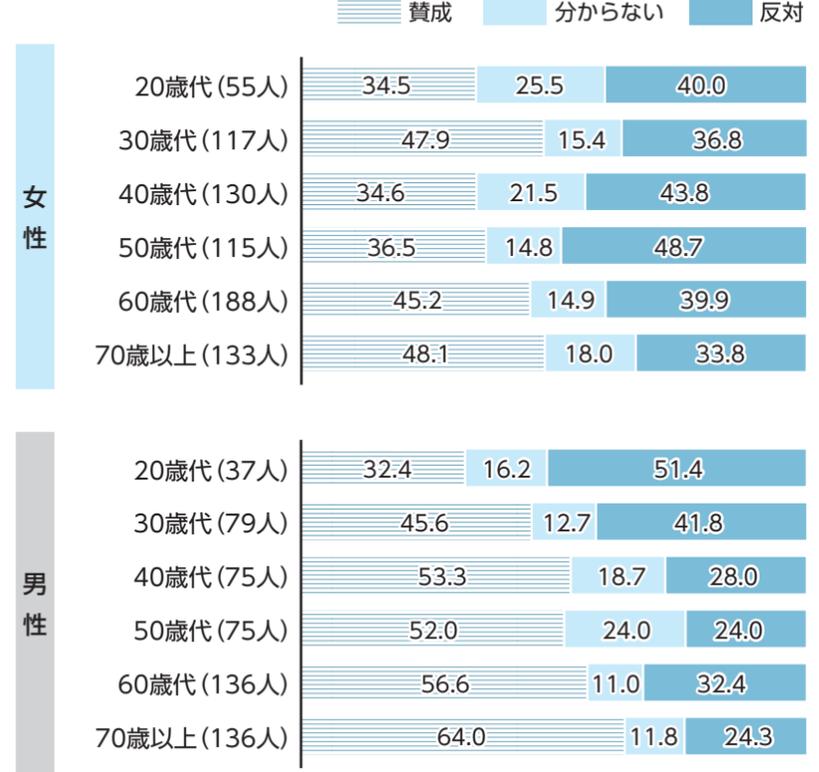
「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という性別役割分担意識の考え方について、「賛成」「どちらかといえば賛成」(賛成派)と答えたのは47.5パーセント、「反対」「どちらかといえば反対」(反対派)と答えたのは36.1パーセントで、男女ともに、賛成派の割合が反対派より多い結果となりました。

出生率の低下は「社会的仕組みの未整備」がトップ

「出生率が低下しているのは何が原因だと思うか」との質問には、「子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み(雇用条件・保育等)が整っていない」が60.3パーセントで最も多く、次に「結婚しない人が増えた」「子育てに経費がかかりすぎる」などの意見が続きました。

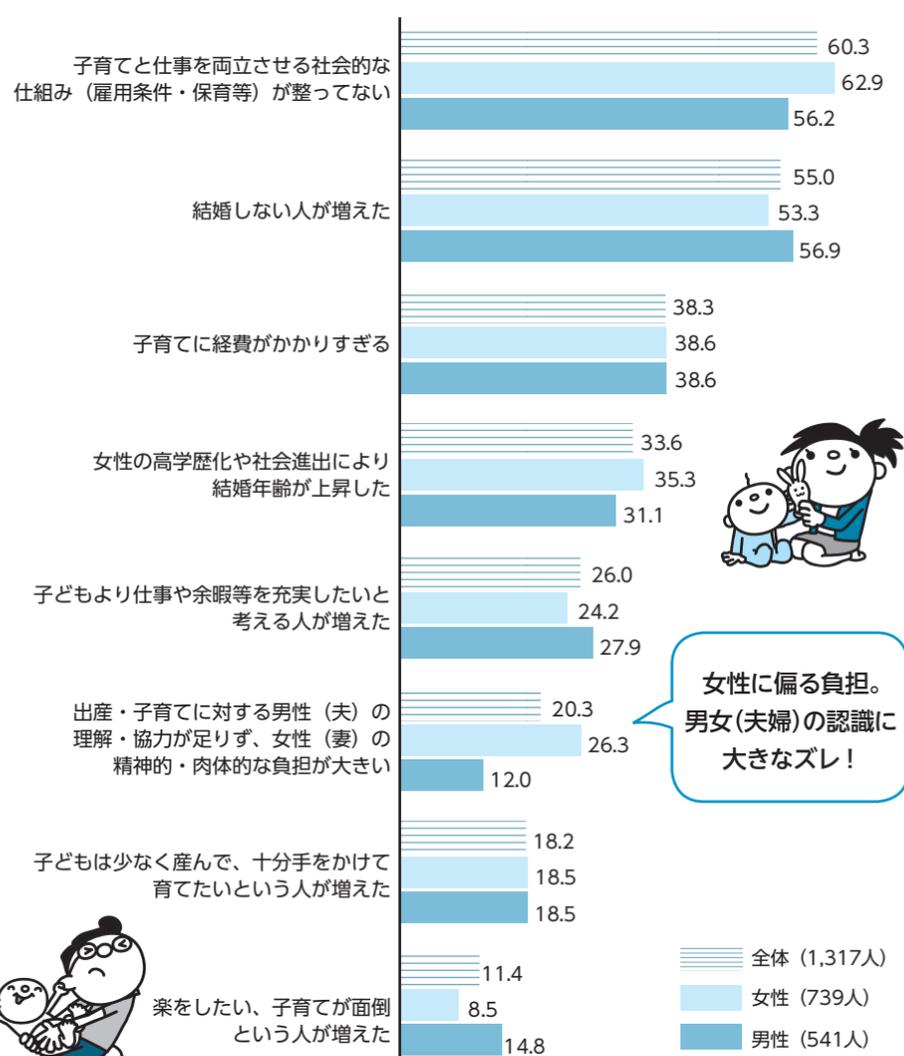
●性別役割分担意識とは…男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性・女性という性別を理由として役割を固定的に分けること

■図1 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思うか(単位：%)



女性より男性が、また特に男性では年齢が高い方が、性別役割分担意識が強い傾向に！

■図2 出生率が低下しているのは何が原因だと思うか(一部抜粋。単位：%)



女性に偏る負担。男女(夫婦)の認識に大きなズレ！

放射線対策 NEWS NO.051

「放射線対策ニュース」は毎月1日号に掲載します

掲載情報は3月24日現在のものです

内部被ばく測定費用の一部助成期間を延長

☎保健所総務企画課 ☎7167-1255

ホールボディカウンターによる内部被ばく測定費用の一部助成期間を、来年3月31日(木)まで延長します。

☑ 柏市に住民票があり、測定日に次のいずれかの要件を満たしているかた ▶ 妊婦のかた ▶ 高校生(相当年齢)以下のかた

助成額／1人3,000円以内※生活保護を受けているかたは6,000円以内。1人1回限り

☑ 申請に必要なものを持って、保健所総務企画課(ウェルネス柏3階)へ直接持参

申請に必要なもの／測定結果用紙、領収書の原本、通帳※妊婦のかたは母子健康手帳、生活保護を受けているかたは保護受給証明書も持参

◎郵送での申請方法など、詳しくは問い合わせを

空間放射線量率の定期測定について

☎放射線対策室 ☎7168-1036

市では、今年度の公共施設等の定期測定を次のとおり行います。測定結果については、市のホームページ等でお知らせします。また、マイクロスポット(局所的に放射線量が高くなっている箇所)が発見された場合には、除染等の必要な対策を行います。

主な測定場所	年間測定数	測定時期(予定)
保育園、児童センター、小・中学校、スポーツ施設、近隣センター、図書館、公民館、集会施設等	2回	5月・11月
公園	3回	通年
道路と駅周辺	2回	5月・11月
指定通学路	1回	10月

放射性物質の検査結果

3月1日～17日検査分

■市内の農産物 ☑ 農政課 ☎7167-1143
 [手賀沼周辺]ホウレン草、京菜、ダイコン、ハクサイ、フェネル、キャベツ、ネギ、ナバナ 検出下限値未満

■給食食材 ☑ 学校保健課 ☎7191-7376
 牛乳 検出下限値未満

■小・中学校(提供した給食1週間分) ☑ 学校保健課 ☎7191-7376
 自校調理7校、給食センター 検出下限値未満

■保育園(提供した給食1週間分) ☑ 保育運営課 ☎7167-1137
 公立・私立合計12園 検出下限値未満

■表記の説明
 ☑=NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ
 ☒=ゲルマニウム半導体検出器
 検出下限値=使用する検査機器で検出できる最小値のこと

品目・学校名・検査方法などの詳しい内容は、市のホームページに掲載しています。私立幼稚園の検査結果も見ることができます